

## 偶然性と自由

村瀬 鋼 (成城大学)

「偶然性」は、これとともに星座をつくる諸々の様相概念と併せて、我々の現実をよく理解させてくれる概念であるように一見思われる。だが実は、それはむしろ、平明な我々の現実を見えにくくし、さらには隠蔽するものともなっているのではないか、とも疑われる。ただ「偶然性」は、おそらく、それが隠蔽しもある当の現実とその出来の由来を持つものでもあり、それ故に、その由来を訊ねることが当の現実になづく特別な通路ともなりうる。問題となる現実の核心にあるのは、自由な私の存存であると私は睨む。私は本提題で、一方では、自由な私の存在に基点を持つ「偶然性」の成り立ちを素描しつつ、他方では、当の自由な私の存在自身の提示を試みたい。その際私は、自由の哲学者として僅かに知られるジュール・ルキエ (1814-62) の思考を参照することを目論んでいる。